

和歌山県小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法医療従事者等研修会開催要領

1. 目的

がん・生殖医療の現状や取組等に関する知識と理解を深めるとともに、がん患者等に寄り添ったきめ細かな妊孕性温存に関する相談技術の向上と相談支援体制の充実を図ることを目的とした研修会を開催する。

2. 実施主体

和歌山県、和歌山県がん・生殖医療ネットワーク

3. 実施時期

令和7年2月25日（火）18時30分～20時30分

4. 実施場所

オンライン開催（Microsoft Teams による配信）

5. 対象

がん等治療施設の医療従事者
妊孕性温存療法実施医療機関の医療従事者
がん患者の相談業務従事者
保健・福祉関係業務従事者

6. 研修内容

- 主催者挨拶
和歌山県 福祉保健部 健康局 健康推進課 課長 宗野 孝信
- 座長（司会）挨拶
和歌山県がん・生殖医療ネットワーク代表
日本赤十字社和歌山医療センター副院長 / 産婦人科 部長 吉田 隆昭 先生
- 【講演1】いま、がん治療施設が求められている「妊孕性温存」への対応 <50分程度（質疑含む）>
大阪国際がんセンター 血液内科 医長 / AYA 世代サポートチーム 多田 雄真 先生
- 【講演2】若年がん患者に対する妊孕性温存療法の現状と課題 <50分程度（質疑含む）>
日本がん・生殖医療学会 理事長
埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 教授 高井 泰 先生
- 【説明】和歌山県の妊孕性温存支援 <10分程度（質疑含む）>
和歌山県健康推進課がん・疾病対策班